



### NPO法人優里の会とは

社会的養護の子どもたちの権利を守り、子どもの健やかな成長と自立を図るため平成25年に設立したNPO法人。里親の普及啓発をはじめ、児童虐待防止事業などを行っています。県から里親支援センター業務の委託を受け「里親支援センターゆうり」として熊本市と県南地域を担当しています。

優里の会では、ホームページ、公式LINE、電話から相談できます。里親についてや出前講座の依頼など、気軽にお問い合わせください！

### 気軽に里親イベントに参加しませんか



#### パネル展示

10月の里親月間にちなんで、里親制度の情報を集めたパネル展示をします。市役所にお越しのついでにぜひご覧ください。  
日時：10月16日(水)～24日(木)  
場所：市役所1階市民コーナー

#### すまいるカフェ

コーヒーなどを飲みながら里親さんの実体験を聞けるイベントです。リラックスした空間で、さまざまな質問ができ、里親について知ることができます。詳しくはホームページをご覧ください。NPO法人優里の会にお問い合わせください。



▲8月10日に人吉市のレストランで開催したときの様子

## 新しい絆をつなぐ

NPO法人優里の会では、里親のことを知ってもらうためのイベントなどを開催しています。興味がある人は参加してみませんか。



NPO法人優里の会  
熊本市東区桜木5丁目9-102  
☎096-234-8967



▲優里の会  
ホームページ



▲優里の会  
公式LINE



山田 信雄 (75)・久美子 (66) さん  
(球磨郡多良木町)

### 里親からの声

2年前から里親として活動している球磨郡多良木町の山田さん夫婦に、やりがいや子どもに対する思いを聞きました。

#### 里親になったきっかけ

ちょうど両親の介護が終わった頃、里親募集のポスターを見かけたのをきっかけに、いろんな境遇の子どもたちの人生に少しでも役立つことができたらと思い、里親に興味を持ちました。

生の子の女の子。高校進学の話でわずか4カ月の受け入れでしたが、コミュニケーションの取り方など学ぶことが多く、とても貴重な経験になりました。成人した6人の我が子に里親を始めたいと相談したときは本当にできるのかと心配されましたが、今では私たちの楽しそうな様子に、徐々に理解を深めてくれるようになりました。

#### 家族の一員として

生まれたての赤ちゃんを含

#### 安心して里親になれる環境

里親支援センターゆうりが手厚いサポートをしてくれています。里子とのマッチング、里子を受け入れている間の相談・訪問など、とても助かっています。心理士にも相談できるので、安心して活動することが出来ます。人吉球磨では少しずつ里親が増えてきて

め、現在一緒に暮らす中学生の女の子まで、これまで4人の子どもたちと生活してきました。赤ちゃんはただただかわいくていと嬉しいばかりでしたが、中学生になるとそうはいきません。ある日突然、一緒に暮らすことになったわけですから当然です。相手の気持ちやくみとつたつもりでも、実はまったく理解できていなかったり、こちらの気持ちをうまく伝えられなかったりなどは日常茶飯事。そんな場面を打開してくれるのは、朝のあいさつなど日常のさりげないコミュニケーションです。里子だからといって特別に気を遣うのではなく、家族の一員として普通に接することが一番大切だと感じています。

#### 誰かの人生の1ページに

これまでの里親生活を振り返ってみると、「楽しかった」の一言につきまします。特に新生児から預かったケースでは、日々育っていく命と向き合い感動の連続でした。里親をやってみたいと思った人は、ぜひ一歩踏み出してください。里親になって困ったことがあっても、支えてくれる人たちがたくさんいます。巡り合うことがなかったかもしれない誰かの人生の1ページになれるなんて、素敵なことではありませんか。私たちの力はほんの小さなものですが、それでも必要としてくれる子どもがいます。一人でも多くの人が里親制度に興味を持ち、地域みんなで一緒に子育てできる社会になることを願っています。

### 里親支援センターとは

里親制度を知ってもらうための広報や普及啓発活動、里親になる人への説明会などをはじめ、子どもを受け入れた後の相談や里親家庭を巣立たした子どもへのアフターケアなど、里親家庭やそこで生活する子どもへの包括的な支援を行う機関です。

県南地域は、県からの委託を受けた「県南里親支援センターゆうり」が担当。同センターでは令和5年度に県南の里親家庭を208回、子どもを83回訪問しました。里親の悩み事などを気軽に相談できる環境を整えていますので、安心して里親として活動することができます。



県南里親支援センターゆうり  
人吉球磨訪問担当 西紫さん